

お元気ですか

療養生活に

訪問看護という選択肢を

長浜病院訪問看護ステーション
所長 河野 智一
「病気や障害があっても、住み慣れた地域・家で暮らしたい」けれど「家族だけで介護や医療的ケアをしていけるだろうか」、「一人暮らしだけれど大丈夫だろうか」と療養生活に不安を感じておられませんか。

あなたやご家族が、自分らしく地域で暮らし続けるために頼りになるのが訪問看護です。地域で暮らしす赤ちゃんから高齢者まで、すべての年代の人にご利用いただけます。訪問看護について、まだ知らないという人もおられるかと思いますが、紹介させていただきます。

訪問看護は、主治医の指示を受けた看護師、リハビリテーション専門職がご自宅を訪問し、体調の確認、療養生活の相談やリハビリテーションを行います。病院と同じように床ずれの処置、点滴、在宅酸素、呼吸器、各種力テールなどの医療機器の管理を行います。また、自宅で最期を迎えられるように苦痛の軽減などについて医師と一緒にサポートしたり、緊急時の対応等を行っています。併せて介護者であるご家族の課題の解決や負担軽減のためのケアを提供しています。

問 市立長浜病院
☎ 68・2300(代表)



▲市民の方から車を寄贈いただきました。訪問看護に活用させていただきます。

の多くは、「夜間や休日に関わらずに何かある」ということかと思いますが、当院の訪問看護ステーションは、『24時間、365日』急な状態変化などにも対応できる体制をとっていますので、「安心ください」。

当ステーション以外にも訪問看護を提供している湖北地域の訪問仲間が、今日も長浜・米原の街を元気に走っています。病気がやわらいでいる療養生活について、お近くの訪問看護ステーションに相談してみようという選択肢はいかがでしょう。

訪問看護のご利用には、まずは主治医や担当ケアマネージャーにご相談いただくか、お近くの訪問看護ステーションにご連絡ください。

●市政に関するご意見

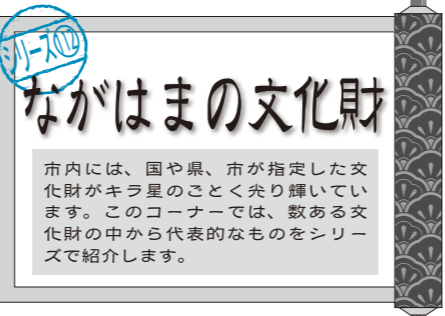
ここに市民からのご意見を記入してください。

●広報ながはまに関するご意見 (今後、特集を希望するテーマ)

ここに市民からのご意見を記入してください。

年齢 歳 (男性 ・ 女性)

※担当課からの返事をご希望の場合は、氏名・ご住所・連絡先 (電話・メールなど) をご記入ください。



市内には、国や県、市が指定した文化財がキラ星のごとくあり輝いています。このコーナーでは、数ある文化財の中から代表的なものをシリーズで紹介いたします。

国宝 宝蔵寺唐門
重要文化財 宝蔵寺観音堂・渡廊(低屋根)・渡廊(高屋根)
指定日：明治34年3月27日指定

桃山時代の輝き再び 宝蔵寺唐門・観音堂

古くから多くの信仰を集める竹生島で、平成25年6月から始まった国宝「宝蔵寺唐門」、重要文化財「宝蔵寺観音堂、渡廊(低屋根)、渡廊(高屋根)」4棟の保存修理工事が、令和2年4月に竣工しました。檜皮葺屋根の葺き替えは昭和47年以来48年ぶり、漆や彩色の塗り直しは昭和10年の解体修理以来85年ぶりとなる修理です。

唐門は建物全体、観音堂は柱などを黒漆塗し、現在では貴重とされる国産漆を使用し、古来の方法で塗り直しが行われました。また、唐門正面の妻飾りや観音堂の欄間等の彫刻、外陣天井廻りなどの彩色は修理に合わせて調査を行い、建築当時の赤や緑、青の色を



▲宝蔵寺唐門

秀吉時代の大阪城唯一の遺構

明治34年3月27日に国宝指定となった唐門は、以前から棟札等により慶長8年(1603)、京都に造営された豊国廟から現在の場所に移築されたことがわかっていました。

今回の保存修理とともに、宝蔵寺の4棟と国宝「都久夫須麻神社本殿」、合わせて5棟の建造物について、詳細な調査が行われた結果、彩色の図柄や配色が同じであるなど、屋根の軒を支える「組物」の構造にいくつかの共通点が見つかりました。

このことから唐門や神社本殿等の5



▲宝蔵寺唐門の彫刻「錦鶏」

棟は、元々、一体の建造物であった可能性が極めて高いことがわかりました。豊臣秀吉が建立した大阪城の極楽橋が、京都の豊国廟を経て竹生島へ移築、竹生島の急峻な地形に合わせて分割、変更されたと考えられます。秀吉時代の大阪城は、オーストリアのエッゲンベルク城に残る「豊臣期大坂図屏風」に描かれています。現存しているものはこの竹生島の建造物群しかなく、日本の桃山文化を代表するものといえるでしょう。

今回保存修理を終えた宝蔵寺の国宝をはじめ、竹生島には数多くの文化財があり、日本遺産にも選ばれています。まさに市が世界に誇る宝の島です。

竹生島へ

長浜市民クルーズの開催

市民の皆さんに気軽に竹生島を訪れてもらえるよう、次の期間、特別価格での竹生島クルーズを企画しました。修理され建築当時の姿を取り戻した宝蔵寺唐門・観音堂をご覧ください。

ぜひこの機会に竹生島へお越しください。

【期間】10月31日(土)まで

【出港時間】(長浜港発) 9時、10時10分、11時30分、12時50分、14時5分

【乗船料】

大人1,570円(通常3,130円)

学生1,250円(通常2,500円)

小学生 790円(通常1,570円)

※別途 入 島料大人500円、小人300円が必要。

【定員】各便15人(先着順・要事前予約)

【予約先】琵琶湖汽船長浜港

(☎ 62・3390)

問 文化財に関すること

歴史遺産課 ☎ 65・6510
市民クルーズに関すること
長浜観光協会 ☎ 65・6521